

## 一般質問発言通告書

議席番号 3 番

氏名 大谷 学

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

## 発言項目及び要旨

## 1 命を守る防災行政について

## (1) 予報が困難な地震・津波の対応について

① 今年3月26日の新聞報道によって公表された政府の地震調査委員会の日本海南西部の活断層についての評価を、どのように受け止めているか。また、この公表後に市役所内で対応されたことがあれば、その内容について伺う。

② 東日本大震災の津波被災者に対する意識調査によると速やかな避難行動をした人には、2つ傾向が認められたとのNHKのラジオ報道があった。

1つ目は、「過去の津波の災害事例を知っていた。」

2つ目に、「日頃より避難について家庭内で話し合っていた。」とのことであった。

この結果から命を守るためには、過去を知ること、家庭内の意思疎通による意識の向上を図ることが大事という点である。

そこで、浜田地震のような過去の災害の史実をどのような形で市民に伝え、災害に備えようとしているか、その現状を伺う。

③ 家庭内での話し合いを促進するために大きな役割を果たすのが子どもたちの存在である。

そこで、学校では浜田地震のような過去の災害等をどのように伝え、命を守る行動に導こうとしているか、その現状を伺う。

## (2) ある程度の予測が可能な土砂災害・浸水の対応について

行政側からの避難指示などの情報の発信は重要ではあるが、雨雲レーダーや河川カメラなどリアルタイムな情報を入手できる今日においては、それ以上に市民自らが危機感を持って必要な情報と知識を入手する意識が重要である。

① 市の防災メールの登録者数はいくらか、市民の意識向上や登録者数増加に向けての対応について伺う。

## 2 道路の改良整備について

## (1) 市道の改良整備に対する浜田市の取組について

昭和初期以前より形成されている集落では道幅が狭く軽自動車さえも入れないところもあり、救急搬送にも支障をきたし命が危険にさらされている。また、資産価値の低下にも繋がりは放置されて土地の再利用にも影響がある。市道の拡幅により利便性を高めることは安心安全や住みやすいまちづくりにとって重要な課題である。

① 市道の改良整備に対する認識を伺う。